

〈1940年〉を起点に考える 〈2020年〉の越え方

[第16回全国大会公開シンポジウム]

〈1940年〉を起点に考える 〈2020年〉の越え方

開会の辞／基調講演者紹介 ● 倉真一	004
[基調講演]	
宮崎、日本、アジア大陸——1940年と2020年 ● ケネス・ルオフ	008
[パネル・ディスカッション]	016
● [パネリスト] 乗松 優／渡邊英理	
● [基調講演者] ケネス・ルオフ	
● [討論者] 若林一平	
● [モデレーター] 倉真一	
[第一報告] ボクシング東洋選手権と未完のプロジェクトとしての『帝国日本』 ● 乗松 優	018
[第二報告] 宮崎の沖縄奄美タウン波島と公共性 ● 渡邊英理	025
[質疑応答]	034
[エクスカージョン報告] ● 四方由美	046

フォーラム「諸外国における『インターカルチュラル』へのアプローチ——加・英・独・ユネスコに見る理論と実践からの示唆」

[第16回全国大会フォーラム]	050
● [フォーラム報告者] 飯笹佐代子／渡辺愛子／川村陶子／坂井一成	
● [モデレーター・本稿文責] 岡 真理子	

文化交流創成コーディネーター資格認定

2017年度 ICCO 短期集中セミナーを沖縄・名桜大学で開催して	
● 菅野敦志	060
ムスリム・ウェルカム——京都市におけるムスリム観光客の受け入れと現状	
● 桑野 響／藤井郁成／大谷美里	065
ICCO 資格取得のその後——社会運動と障害者福祉をつなぐもの	
● 鈴木真蒔	076

ハワイ王国に写し出されるアメリカ ——マーク・トウェインの『ハワイ通信』にみる「自国認識」 ● 目黒志帆美	083
テキストとしての「文化教書」(1938) ——ナチス時代のスイスにおける「精神的国土防衛」運動の理路 ● 葉柳和則	099
日本文化を読み解く3つの部屋 ——旧日向別邸にみるタウト作品のインターカルチュラルリティ ● 齊藤 理	115

社会空間としてのラオスのチャイナタウン ——ビエンチャン三江チャイナタウンの事例を通して ● 王 維	134
---	-----

大衆文化が日本人と韓国人の関係構築に及ぼす影響 ——日韓大学生の初対面会話の分析から ● 河先俊子	145
--	-----

地域社会からみた「2020年」の越え方 ——ジェンダー・地方分権・オリンピック ● 梅津顕一郎	159
--	-----

文教大学国際学部叢書編集委員会編 『国際学研究叢書 世界と未来への架け橋』 ● 熊田泰章	165
---	-----

【会員の著書紹介】	168
-----------	-----

- *レオ・チン／菅野敦志 訳
『ピカニング〈ジャパニーズ〉——植民地台湾におけるアイデンティティ形成のポリテクス』
- *張 晟喜 [まど・みちお——詩と童謡の表現世界]
- *鄭 榮蘭『日韓文化交流の現代史——グローバル化時代の文化政策：韓流と日流』

【博士論文紹介】

『「教訓抄」に語られる中国音楽説話の研究』 ● 王 媛	170
『王権とフラ——ハワイ王国における先住民文化政策』 ● 目黒志帆美	172
『日本国憲法第25条「文化」概念の研究——文化権(cultural right)との関連性』 ● 中村美帆	174
『グローバル化社会における文化政策と国際文化交流の意義 ——日韓文化政策の比較分析による文化の「発信力」・「対話力」に関する考察』 ● 鄭 榮蘭	176

【国際文化学 私の3冊】

文化・他者・私 ● 小林文生	178
----------------	-----

英文目次	184
ABSTRACT	185
編集後記	188

日本国際文化学会2017年度事業報告	189
日本国際文化学会第16回全国大会プログラム	190
日本国際文化学会第17回全国大会開催予告	196
全国大会発表要項について	198
2017~2018年度役員及び各種委員一覧	200
日本国際文化学会規約	202
『インターカルチュラル：日本国際文化学会年報』編集要項	204
『インターカルチュラル：日本国際文化学会年報』投稿規定	206
平野健一郎賞規程	207